

令和3年

雲南市議会 9月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 令和3年9月6日～9月9日】

令和3年雲南市議会9月定例会 一般質問通告一覧表 目次

| 順番 | 日程 | 議席番号／氏名 | 質問方式 | ページ | 順番 | 日程 | 議員番号／氏名 | 質問方式 | ページ |
|----|-------------------|----------|------|-------|----|-------------------|----------|------|-------|
| 1 | 9/6(月) 9時30分～ | 9／足立 昭二 | 一問一答 | 1～3 | 11 | 9/8(水) 9時30分～ | 6／梶谷 佳平 | 一問一答 | 24～27 |
| 2 | | 8／上代 和美 | 一問一答 | 3～6 | 12 | | 1／多賀 法華 | 一問一答 | 27～29 |
| 3 | 9/6(月) 13時00分～ | 18／矢壁 正弘 | 一問一答 | 6～9 | 13 | 9/8(水) 13時00分～ | 7／宇都宮 晃 | 一問一答 | 29～31 |
| 4 | | 10／中林 孝 | 一問一答 | 9～10 | 14 | | 16／細田 実 | 一問一答 | 31～34 |
| 5 | | 11／松林 孝之 | 一問一答 | 10～12 | 15 | | 13／原 祐二 | 一問一答 | 34～36 |
| 6 | 9/7(火) 9時30分～ | 17／藤原 信宏 | 一括 | 12～14 | 16 | 9/9(木) 9時30分～ | 12／中村 辰眞 | 一問一答 | 36～38 |
| 7 | | 3／児玉 幸久 | 一問一答 | 14～16 | 17 | | 15／周藤 正志 | 一問一答 | 38～40 |
| 8 | 9/7(火) 13時00分～ | 2／安田 栄太 | 一問一答 | 16～17 | | | | | |
| 9 | | 4／上代 純子 | 一問一答 | 17～20 | | | | | |
| 10 | | 5／鶴原 能也 | 一問一答 | 20～24 | | | | | |

令和3年雲南市議会9月定例会 一般質問通告一覧表

令和3年8月30日

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|-------------------|---|--------|
| 1 | 9 | 足立昭二 (一問一答) | 1. 7月豪雨災害 について | <p>8月23日に開催された市議会全員協議会で石飛市長は「雲南市発足後経験したことがない災害が発生した」と述べられたように甚大な被害をもたらした。私も（雲南市では）いまだかつて起こったことがない災害現場を見て豪雨災害の恐ろしさを感じた。</p> <p>地球温暖化が進むなかで、異常気象は毎年全国各地で発生しており、今後雲南市も毎年豪雨災害や大雪災害に備えた体制強化・対策が必要と考える。市長施政方針では「災害復興を雲南市の最優先課題として位置づけ、人材や予算を総動員して取り組む」と、さらに「災害復興に関連しない事業の進捗や内容の見直しを必要に応じて行いつつ、災害からの復興に全力で取り組む」と表明された。</p> <p>(1) 今回の災害で被災された皆さんからは「この際米作りはやめる」「地元を離れるしかない」などの意見を聞いた。人口減少や離農者ができることも予想される。市長は7月豪雨災害をどのように受け止めているのか問う。</p> <p>(2) 今回の被害は特に旧飯石郡地内に集中している。災害復興を雲南市の最優先課題として取り組むとされているが、甚大な被害状況をケーブルテレビ、広報、インターネットなどを通じて市民に知っていただき市民全体に共有化していくことが大切だと考えるが所見を問う。</p> <p>(3) 今回の災害では既存の法律や制度が、生活再建の復旧を遅らせる状況もあり、縦割り行政の矛盾が露呈したように感じた。災害時における緊急的な制度を国や県に求めると共に市で対応できることは</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|------------------------------|---|--------|
| | | | 2. 雲南市立病院の 危機管理体制につ いて | <p>検討すべきと考えるが所見を問う。</p> <p>(4) 災害時に当たって市役所本庁、総合センター、地域自主組織との連携対応について教訓点・反省点を問う。</p> <p>(5) 早期の復旧・復興には職員の確保が必要だ。今後も大規模災害が発生すると予測される。現在の雲南市の職員体制では対応できない。市職員の増員、自治体職員 0B の再雇用など組織体制の強化が必要と考えるが所見を問う。</p> <p>(6) 市長は、災害復旧復興を市の最優先課題と位置づけられた。そして事業の見直しを行うとされている。BCP（業務継続計画）を含めどのような手続きでおこなわれるのか問う。</p> <p>(7) 9月に組織機構の見直しが行われた。これは緊急的な対応と考える。6月議会で「行政組織の見直し」について質問した。今後起こることが予想される自然災害にも対応できる体制見直しが求められる。災害を受けての「行政組織の見直し」について所見を問う。</p> <p>経験したことのない7月豪雨災害、一向に収束する見込みのないコロナ感染症をふまえて、雲南市立病院の危機管理体制について問う。</p> <p>(1) 雲南市管理職の危機管理体制については、6月議会で他の議員から質問があった。市長、副市長とも市内に居住あるいは住居を借り危機管理体制を確保されているが、雲南市立病院では、いざ災害というときの対応策はどうなっているのか問う。</p> <p>(2) 雲南市立病院は、病院運営の責任者である「病院事業管理者」、「副事業管理者」、「病院長」いずれも通常は、市外に居住されているということだが、事実とすれば迅速的確な対応が確実に取れるのか問う。</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|-------------------|--------------|--|--------|
| | | | 3. 島根原発について | <p>(3)雲南市立病院は、当然に「災害時の危機管理マニュアル」を作成されておられると思うが、医療提供体制についてはどのような形になっているか問う。</p> <p>(4)コロナ対策を含め医師である「危機管理担当者」を置き、日常・普段に現場において的確かつ迅速に初期対応を行う必要があると考えるが市長の所見を問う。</p> <p>市長は島根原子力発電所 2 号機の再稼働を判断するうえで、福島原発の調査・視察はすべきと考える(コロナ感染の収束状況を見極め)。福島第一原発事故から 10 年が経過するが、これまでに調査視察に行かれたことがあるのか、併せて問う。</p> | |
| 2 | 8 | 上 代 和 美 (一問一答) | 1. コロナ対策について | <p>(1)新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大と深刻な医療逼迫が首都圏を中心に全国に広がっている。島根県でも連日 2 ケタの新規感染者がみられ、感染状況の警戒レベルが「レベル 3」に、県の病床確保計画の段階が最高の第 5 段階となっている。県は 8 月 18 日「感染者全員を入院させる」というこれまでの方針を変更し、自宅療養を容認する方針転換をした。全国でも自宅療養中に症状の急変で亡くなられるという痛ましい事例が相次いでいる。入院や宿泊施設療養を堅持し、自宅療養方針の撤回を県に強く求めるべきである。見解を伺う。</p> <p>(2)今後、感染拡大が懸念される。自宅療養は救える命が救えない危険性がある。市としても宿泊療養施設や臨時の医療施設の確保を検討しておくべきではないか。見解を伺う。</p> <p>(3)今、感染が若い方、子供たちに広がってきている。感染伝播の鎖を断つために積極的な検査の拡充が必要である。「いつでも、誰でも、</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|--|--|--------|
| | | | <p>2. 災害対策について</p> <p>3. 特別支援学校の通学支援について</p> | <p>何度でも」の立場で検査が行なえるよう県への要望を強めると同時に、市としても学校、保育園、学童クラブなどに対し、抗原検査やPCR検査をすべきではないか。見解を伺う。</p> <p>(1) 今回の豪雨災害は人的被害がなかったことは幸いであったが、市民にとって経験したことのない甚大な被害をもたらした。市民から「指定避難所に避難して本当に安全なのか」「地域の人口を考えると避難所が狭いのではないか」など心配の声を聞いている。いざというとき本当に使える実効ある避難所を地元の声を聞いて見直すべきである。見解を伺う。</p> <p>(2) 今回、要支援者はまず指定避難所に避難してから、必要なら福祉避難所に避難することになっているとの説明を受けた。しかし要支援者が2度移動することは大変なことである。同時に開設することはできないのか。見解を伺う。</p> <p>(3) 福祉避難所になっている事業者の方から話を伺うと、市との様々なすりあわせができていない。事前の協議が必要ではないかとのことだった。今後の教訓として、梅雨前の時期に災害発生時のシミュレーションをおこなうなど備えをしておくべきではないか。見解を伺う。</p> <p>(1) 市では、特別支援学校への通学支援に移動支援事業が使える制度があるが、市民から「移動支援事業が使えなくて困っている」との声を聞いた。そもそも市内の学校に通っている子供たちは、学校から家までの距離が一定程度離れていればスクールバスを利用することが出来る。特別支援学校のスクールバスは市内には入ってこないし、障がいによっては団体行動が取れない子供もいる。どの子も平</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|--------------------|--|--------|
| | | | 4. 下水道料金改定 について | <p>等に考えるなら、移動支援の要望のある家庭すべてに利用できるようにすべきである。見解を伺う。</p> <p>(2)障がい者差別解消法では、「合理的配慮」の提供が自治体に対して求められている。障がい者が遠隔の学校に行きたくて学習したいが交通手段がないことはバリアになっていることではないか。「合理的配慮」の観点からも、要望されている家庭への移動支援をすべきである。見解を伺う。</p> <p>(1)今年4月16日に市から「下水道使用料の改定について」雲南市下水道に関する審議会へ諮問され、審議の答申が7月26日付けで市長に報告された。答申は改定時期を令和4年4月使用分から、平均20%引き上げるものとする。と報告されている。これを受けて市としての方向をだされるが、審議会からの付記意見についてこれからどう考えられるのか、何点かについて伺う。</p> <p>①「下水道事業への繰出金については、急激かつ大幅な減少がないよう出来る限り配慮していただきたい」とある。下水道は市民生活に重要なライフラインであるだけに、自治体本来の仕事である「福祉の増進」になる1つでもある。繰出金を減らしての計画であってはならない。見解を伺う。</p> <p>②「新型コロナウイルス感染症は、地域経済と市民生活に大きな影響を与えている。影響を考慮」とある。コロナの影響に加え、消費税増税の影響もとても大きい。特に年金生活者、非正規労働者など生活に困窮している方が増えている。こういったところへの考慮はあるか。見解を伺う。</p> <p>③「県内8市の中で一番低い使用料が今回の改訂により6番となる」</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|-------------------|-----------------------|---|--------|
| | | | | とある。県内 8 番目は定住促進の 1 つの魅力になる。若者定住に逆行するのではないか。 | |
| 3 | 18 | 矢 壁 正 弘 (一問一答) | 1. 災害に強い地域 づくりについて | <p>7月6日の豪雨に始まり、8月9日からの台風、秋雨前線による長雨で全国各地で災害が発生し、本市でも飯石地区を中心として大きな災害が発生し各地に甚大な被害をもたらした。</p> <p>災害に対して油断があった訳ではないと思うが、経験のない豪雨に見舞われ各地で混乱が生じた。今後、災害に対しこれまで以上の対策が望まれる。災害に強い地域づくりについて伺う。</p> <p>(1)防災・減災について</p> <p>①本市は1次産業が盛んで各地に水田が点在する。現在、全国各地で水田を利用して防災・減災につなげる「田んぼダム」という取り組みがある。本市でも検討し取り組んでは。</p> <p>②現在、本市では県発注のため池の改修を順位を設けて実施している。国・県では国土強靱化、防災・減災の面から予算を付け早期の改修を目指しているが、市の負担金が予算化できないため遅れていると聞いた。決壊すれば大きな被害が発生するため池が多く点在している。早期の改修が望まれるが見解を伺う。</p> <p>③今回の災害では、河川の氾濫により堤防への被害が多く出た。経験のない豪雨であったこともあるが、河川内の立木や堆積土が整備されていたら被害も抑えられたと思われる。定期的な立木の伐採、堆積土の浚渫（しゅんせつ）が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>④レッドゾーンが指定される予定となった。指定されるゾーンには多くの民家が点在し、多くの市民の皆様の生活がある。指定するだけでなく防災減災のためにもハード整備が必要と考えるが見解を伺</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|-----------------------|---|--------|
| | | | 2. 教育（学校）施設の修繕・改修について | <p>う。</p> <p>⑤7月3日静岡県熱海市で違法盛土による大規模な土石流が発生し多くの犠牲者が出た。本市でも過去に残土処理場から土砂が流出した経緯がある。その後、調査はされているのか。また、盛土に対する条例が島根県では制定されていないようだが、本市独自の対策は取られているのか。</p> <p>(2) 今回の災害では、レベル4（避難指示）レベル5（命を守る行動）が発令され多くの方が指定避難所に避難された。避難所によっては進入路が土砂崩れのため通行が出来なかったり、浸水により避難できない状況が発生した。各交流センターが指定避難所になっているが、土砂崩壊の避難所、浸水の避難所等区分けが必要では。</p> <p>(3) 令和元年12月の一般質問で、防災計画を100年に1度発生する災害から1000年に1度発生する災害を想定し見直すべきと質した。全国各地で毎年のように発生する大規模災害。本市の防災計画を今一度検証しながら、災害に強い地域づくりを目指さなければならないと考えるが市長の見解を伺う。</p> <p>(1) 教育（学校）施設の修繕について</p> <p>①大東中学校の3階ベランダの木製手摺の一部が老朽化し落下する事例が発生した。幸い怪我人もなく大事には至らなかったが重大事故を招きかねない事例と思われる。その後検証されたのか。</p> <p>②この手摺については、以前より老朽化による危険性が指摘されていて、学校側からも安全性の高い手摺に交換するよう修繕願いが提出されていたと聞いたが対処されなかったのはなぜなのか伺う。</p> <p>③大東中学校の他にも、風雨や雪害を直接受ける室外の木製施設が</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|---------------|---|--------|
| | | | 3. スポーツ振興について | <p>あると思われるが点検整備はされているのか伺う。</p> <p>④各小中学校の体育館のフロア（床）も痛みがあり、ガムテープ等貼りながら使用している学校もあるようだ。点検、修繕が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(2)教育（学校）施設の改修について</p> <p>①保育所、幼稚園、小中学校のトイレの洋式化は、平成26年3月から訴え続けている。その後、他議員からも指摘があったが現在何%くらいの改修率となっているのか。また、全箇所改修の目処は立っているのか。</p> <p>②市内4校のプール施設内にある溜め込み式便所についての改修も質してきた。現在の取り組みは。</p> <p>③コロナウイルスの感染が子どもたちへ広がっている。トイレの水を流す時にはどうしてもレバーに触れなければならない。感染予防のためにも自動で水を流す器具に交換しては。以前、他議員から指摘のあった水道蛇口も自動水栓に交換すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>④以上の教育施設の修繕・改修の質問はこれまでの一般質問で行ってきたものがほとんどだ。答弁としては、内容は十分承知しているが予算内での施工となるので優先順位を付け順次行っていくとのことだった。各学校からは、これ以外の修繕・改修の要望が多く出されていると思う。教育施設に対する予算（小中学校施設整備事業費）等を拡充すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(1)令和12年に2回目の島根県で国民スポーツ大会が予定されている。現時点での取り組みがあればお聞きしたい。</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|-----------------|---|---|--------|
| | | | | <p>(2)スポーツ施設について</p> <p>①野球場について、各施設共傷みが大変激しい。特にスコアボードは鉄板が老朽化しいつ落下してもおかしくない状態となっている。整備が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>②大東町の丸子山公園にあるスケートボード場は県内では数少ない施設であり、市内外の多くの若者が利用している。東京オリンピックでの活躍もあり使用者が増える傾向にあり、拡充整備を望む声を聞く。また、バスケット人口も増加の傾向にあり、コロナ禍の中での室内競技の制限もあり、屋外でのバスケットゴールの設置を望む声もある。総合的な拡充整備を考えられないか伺う。</p> | |
| 4 | 10 | 中 林 孝 (一問一答) | <p>1. 災害対応について</p> <p>2. 市が関与する事業について</p> | <p>(1) 7月豪雨の被害状況および被災された市民への支援や復旧状況について伺う。</p> <p>(2) 復旧に向け激甚災害法の適用、それに向けた庁内体制の整備状況について伺う。</p> <p>(3) 本災害で自主防災組織は機能したか、学ぶべき教訓はないか。今後の方針について伺う。</p> <p>(4) 災害に関する情報伝達手段として新聞・テレビ以外に、本市独自の情報伝達手段として夢ネットや告知放送がある。情報伝達は十分と言えたか。改善点はないか。</p> <p>(1) コロナの影響で病院の経営環境は変わったと思われる。まだ感染拡大が続く状況では不測の事態も想定される。市立病院の事業継続に問題はないか、市民生活に影響は出ないか。</p> <p>(2) 本市が出資あるいは出捐する出資団体の事業目的、及びこれらへの関与のあり方について基本的な考えを伺う。</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|--|---|--------|
| | | | <p>3. 定住インフラの整備について</p> <p>4. 「すずらん」撤退について</p> | <p>(3)本市の出資団体の事業内容、経営状況について伺う。それらは市の方針や行政の補完的役割、事業目的等に照らして十分に機能しているか、また、問題点はないか。</p> <p>(4)清嵐荘はこの11月に開館2周年を迎える。現在の状況と今後の本市の方針について伺う。</p> <p>(5)コトリエットに元気がない。家賃設定等に問題はないか、活性化策等について伺う。</p> <p>(6)コトリエット出店者は家賃を支払う一方、清嵐荘の指定管理料はゼロ等、市が関与する施設で運営上の差異がある。差異があることは問題ないか。</p> <p>(1)加茂スマートICの工事の進捗状況、来年度の開通時期について伺う。</p> <p>(2)神原企業団地の2期工事、3期工事への展望、事業化の時期について伺う。</p> <p>(3)定住人口の増加には雇用増につながる企業進出が不可欠だ。企業誘致の進捗状況を伺う。</p> <p>(4)定住基盤の確保に住宅団地の整備も欠かせない。現状と今後の取組みについて伺う。</p> <p>(1)JAしまねが運営する「JAしまね雲南すずらん福祉センター」について撤退話がある。本市に連絡はあったか。</p> <p>(2)本年7月末頃に事業譲渡先を明らかにするとのことだったが現時点では明らかではない。交渉状況を把握しているか。今後、本市はどのように関わっていくか。</p> | |
| 5 | 11 | 松 林 孝 之 | 1. 最低賃金と雇用 | (1)島根労働局は最低賃金を全国で最大の32円に引き上げると決定 | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|---|---|--------|
| | | (一問一答) | <p>について</p> <p>2. 国体に向けた取 り組みについて</p> | <p>した。労働者の所得向上は重要であるが、コロナ禍において雇用する事業者の体力が持たず、企業の経営悪化を招きかねない。</p> <p>①県内経済 5 団体が労働局に対し、異議申し立てを提出する事態となったが見解を伺う。</p> <p>②最低賃金審議会は、企業支援策や賃上げの環境整備を行政に求めるとの見解を示しているが、支援策は。</p> <p>(1)市長はスポーツ振興にも力を傾注するとされる中、コロナ感染症の影響で国体の開催は二転三転しているが、2030 年開催予定の島根国体は、まさにアフターコロナにおける地域振興の起爆剤と考える。</p> <p>①国体開催に向けた市長の意気込みを伺う。</p> <p>②平成 31 年 3 月定例会及び令和 2 年 3 月定例会の一般質問で国体開催の質問をした際、県が令和 2 年度に準備委員会を設置し、市としても計画策定に取り組むとの答弁であったが、県及び市のその後の進捗状況は。</p> <p>③本市が主会場となる種目の決定は、同時に施設整備が必要となる。中期財政計画や公共施設等整備計画との整合性を図る必要があり、方向性を示す時期であるが検討状況は。</p> <p>(2)ハード整備計画を進めることと共に、人材育成も進めなければならない。</p> <p>①指導者の育成と誘致を先行して取り組まなければ「育成の場の創出と選手の発掘」は出来ない。その指導者は現在の高校生、大学生、さらに若手社会人であり UI ターンのターゲット世代でもあることから人口の社会増にも繋がる。強力に進めるべきではないか。</p> <p>②選手育成の中心は、現在の小中学生を中心とした世代であり、学</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|----------------------|---|--------|
| | | | 3. 災害からの復興 と地域の再生 | <p>校やそれぞれの競技現場の意識の醸成こそがスタートと考える。準備すべき時期に来ているのではないか。</p> <p>(1)数十年に一度の災害は、もはや毎年のように起こり、その激甚化と発生頻度は異常である。</p> <p>①合併後、最大最悪の災害は、災害復旧において建設業界の一定規模の存続が必要であることを知らしめた。農業・林業をはじめ地域環境の保全等、経営の多角化を図り地域の担い手産業の一翼として、特定地域づくり事業推進地域組合制度を活用し、当業界の雇用の維持に結びつけてはどうか。</p> <p>②この度の災害は、特に高齢化が進む地域の山間部での発生であったことから、元気な高齢者の生きがいである「農林業への情熱」を奪うきっかけになると、地域の衰退を招きかねない。人口の流出を避けるためには「住み続けることができる支援やサポート」が重要であるが、具体的な復興ビジョンを伺う。</p> | |
| 6 | 17 | 藤原信宏 (一括) | 1. 豪雨災害対策について | <p>7月12日の梅雨前線豪雨は、過去に類を見ない甚大な被害をもたらした。局地激甚災害に指定される大規模災害、長期に亘る公共災害復旧事業の効果的遂行と基盤強化の主要課題について提起・質問する。</p> <p>(1)原則3年かかる公共土木施設・農林災害復旧事業の、個々の工事発注の優先度をどう考慮するか。</p> <p>(2)災害復旧事業執行体制の充実強化について、何より求められるのは、設計・積算、工事監理等を担う土木現場の強化である。災害復旧実務専門職場・係の設置と職員体制の充実強化の考えを問う。</p> <p>(3)近年は、建設業界の建設力が縮小しており、施工能力のキャパシ</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|-----------------------------------|---|--------|
| | | | 2. グリーンスロー モビリティの早期 実用化について | <p>ティを懸念する。建設業界との協議や事前の市外業者の入札参加資格者名簿の登載など、施工業者確保対策をどう考えているか。</p> <p>(4) 今後は、仮置き土や本工事における大量の残土処理が課題となる。この機に建設業界と協議し、飯石・大原地区それぞれ1か所は、一般工事も含めた残土処理場を確保すべきと考える。所見を問う。</p> <p>(5) 三谷川と椎の木谷川の溢流(いつりゅう)による浸水は、三刀屋川の増水により樋門を閉めるための内水氾濫であり、排水ポンプによる強制排除しか救う術はない。雨水の流出状況を検証し、必要量に見合うポンプ能力の増大を求める。</p> <p>(6) 一時、旭町の東西南北いずれも通行できない状況が生じた。南通り線の市営住宅団地付近から三谷川堤防に向かう、この度浸水した約200m区間の山際に「命の道」・迂回路を検討してはどうか。</p> <p>(7) 一宮交流センターの裏山が崩れた。今一度、全交流センターの安全度を再点検され、レッドゾーン絡みや災害避難が難しい建物にあっては、移転改築年次の繰り上げを計画すべきと考えるがどうか。</p> <p>(8) 災害時の非常用電源として、自動車ディーラー等と給電を行う協定を締結する、市で数台の電気自動車を所有する等、電気自動車の活用を推進すべきと考えるが、所見を問う。</p> <p>(1) グリーンスローモビリティ導入についての所見を伺う。また、現時点で、技術開発や法整備などを踏まえ、どの様な課題があり、導入の可能性についてどう把握しているか伺う。</p> <p>(2) 公共交通網形成計画に反映する可能性はどうか。如何なる活用であれ、実用化の目標時期はいつか。</p> <p>(3) 持続可能な運行形態の事業化に向けた収支、運賃についてはどう</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|--------------------------|--|--------|
| | | | 3. 分譲住宅地の整備促進について | <p>考えるか。</p> <p>(4) 市が政策として持続可能な運行モデルの確立に向け積極的に主導し、地域主体の実証運行に当たっても、相応の経費や労力支援を行うべきと考えるがどうか。</p> <p>市土地開発公社における分譲地は、現在ストック 0 の状況にあるが、市の「立地適正化計画」の策定との整合性を取るため、新規住宅団地整備の取組みがストップしている。この度の災害で移転を考える方もあると聞く。人口減少対策、定住対策は市長の政策の 1 丁目 1 番地であり、団地整備は急がれる。</p> <p>(1) 大災害が発生し立地適正化計画策定の遅れを心配する。いつまで待つのか。早期の取り組み再開の術はないか。</p> <p>(2) 今後、開発公社が造る住宅団地は、規模に限らず居住誘導地域以外には整備できないのか。</p> <p>(3) 住宅団地整備は、社会資本整備総合交付金等の支援対象メニューに該当するか。整備に対して、計画策定の趣旨以外にメリットはあるか。</p> <p>(4) 計画中の団地は、かなり手続きが進んでおり、地権者も同意済みである。ここにきて、居住誘導区域設定によっては、計画が立ち消えとなる団地も出てくるのか。</p> | |
| 7 | 3 | 児玉幸久 (一問一答) | 1. 災害救援ボランティアセンターの活動について | <p>令和 3 年 7 月島根豪雨では、雲南市内各所で甚大な被害が発生し、その応急復旧作業にあたっては、建設事業者はもとより、地域住民（自治会）や災害救援ボランティアの皆さまが被災家屋の土砂撤去や片付け等にも携わっていただいた。特に、雲南市における災害救援ボランティアセンター（以下「ボランティアセンター」という。）</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|-------------|--|--------|
| | | | 2. 災害復興について | <p>の設置は、今回の災害が初めてであったことから、実際に設置し活動され、様々な課題も明らかになったと考える。</p> <p>(1) 7月15日にはボランティアセンターが開設され、非常に早い対応だったと評価しているが、平時から、ボランティアセンターの設置・活動に対して、どのような準備をなされてきていたのか。</p> <p>(2) 活動対象件数が51件であったが、潜在的なニーズはもっと多かったのではないかと考えているか。</p> <p>(3) ボランティアセンターの運営にあたっては、多くの応援スタッフに入ってもらったわけだが、体制として十分だったか。(人数、役割など)</p> <p>(4) ボランティアセンターの体制や活動についての検証が重要だと考えるが、ボランティアを依頼された方、参加者、スタッフからの意見の把握は出来ているか。</p> <p>(5) ボランティアセンターのスタッフ、ボランティアで参加された方とその活動に対し、市長はどのような所感をお持ちか伺う。</p> <p>今回の豪雨災害では、道路・河川、農地・山林等で多くの被害が発生した。被災者の生活再建、被災箇所の復旧に市として全力をあげて取り組む必要がある。</p> <p>(1) 災害査定に向けた調査体制の確保について ①被災箇所の測量調査の体制は確保されているか。</p> <p>(2) 担当課の技術系職員の増強について ①災害査定、本格的な復旧工事の実施に向け、積算の出来る即戦力となる技術系職員の増強が急務であるが、現時点での見通しはどうか。</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|-----------------|--------------------|--|--------|
| | | | 3. 荒廃山林対策について | <p>②これまでも技術系職員の募集はしているが応募が殆ど無いとのことだが、何が原因なのか。</p> <p>③市として、今後、技術系職員の確保に向けてどのように対応するのか。</p> <p>④技術系職員の確保が難しいということであれば、外部人材の活用も必要だが、現場技術管理のような形で業者に委託することは考えているのか。</p> <p>(3) 災害復旧事業の円滑な執行について</p> <p>①復旧工事においては市内建設会社の全面的な協力が必要であるが、被災箇所が非常に多いため、技術者や建設作業員が不足し復旧工事が遅れることが懸念される。市としてはどのような対応をしていく考えか。(発注方法、特例措置)</p> <p>(4) 建設会社における技術者・建設作業員確保の支援について</p> <p>①建設業においては慢性的な人手不足の状況にあり、特に若い年代の建設作業員の不足が深刻な課題となっている。復旧工事を担う若手建設作業員の確保に向けた支援策が必要ではないか。(建設業従事者の UI ターンの促進に向けた支援策等)</p> <p>管理の行き届いていない山林が多くあり、災害の被害を拡大させているのではないかと考えるが、市の見解を伺う。</p> | |
| 8 | 2 | 安田 栄太 (一問一答) | 1. 災害発生時の避難所運営について | (1) 避難所の開設、運営にあたり、雲南市避難所運営マニュアルには、地域住民（地域自主組織等）が中心的な役割を果たすと記されている。また、地域、施設管理者、行政で避難所運営協議会、避難所運営委員会を設置し、発災時の初動体制の構築を図るとある。今回の | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|---|--|--------|
| | | | <p>2. コロナ禍の市内 経済について</p> <p>3. サッカー場整備 について</p> | <p>災害で、地域自主組織が各交流センター等で避難所の開設、運営にあたり困惑があった。避難所運営協議会で避難所運営について事前協議が行われていたのか。</p> <p>(2) 避難所運営について、地域自主組織がふりかえりをされた。</p> <p>① トイレが和式で不便だったという意見があったが、今後、新設や増設をする考えはあるか。</p> <p>② 炊き出しをされた避難所もあった。手作りの物や温かい物は、避難者にとって不安な気持ちを少しでも和らげる効果があったようだ。しかし、調理室がない避難所がある。乳児等の離乳食やアレルギーなどに対応するためにも避難所に調理室は必要と考えるが、見解を伺う。</p> <p>(1) これまで飲食・宿泊業などを中心に様々な支援をしてきたが、長引くコロナ禍において、事業者は感染者が出て休業する不安や、収束後の生活様式の変化への対応等の不安も抱えている。</p> <p>① 収束後に向けて、消費喚起等の対策や市内経済の回復に向けた道筋を伺う。</p> <p>② コロナ禍の長期化により、飲食・宿泊・旅客業はもとより、関連業者への影響も出ている。継続的な支援を求める声があるが、対策はあるか伺う。</p> <p>(1) 以前より大東公園多目的広場は整備を要望されているが、現在、大東ジュニアフットボールクラブが練習場として使用されている。グラウンド状態はデコボコで良い状態とは言えない。整備する考えはあるか伺う。</p> | |
| 9 | 4 | 上代純子 | 1. 令和3年7月豪 | (1) 三刀屋川、三谷川、滝谷川と椎の木谷川の水が増水したため、国 | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|---------------|---|--------|
| | | (一問一答) | 雨災害における河川について | <p>道54号並びに生活圏である主要道路が冠水し、床上、床下浸水、農地等への被害が生じた。</p> <p>①当日の三谷川への固定式排水ポンプの排水作業準備指示及び排水作業開始時間、雲南市排水ポンプ車の出動指示及び排水開始時間、三谷川樋門を閉じる操作開始時間の初動体制は的確であったのか。</p> <p>②三谷川の固定式排水ポンプや雲南市排水ポンプ車、樋門の操作などの行動はマニュアル通り行われていたのか。</p> <p>③なぜオーバーフローしたのか。現在の固定式のポンプや雲南市排水ポンプ車の処理能力がどうであったのかなど検証すべきではないか。</p> <p>④現在の固定式排水ポンプと、これを補完する雲南市排水ポンプ車の能力では処理ができないことも考えられる。今後、より大型の樋門や、固定式排水ポンプを設置することも考えられるが、関係機関と連携して整備する考えはないか。</p> <p>(2)平成18年に新田川周辺が浸水したが今回は被害を抑えることができたがその原因は何だったのか。</p> <p>(3)三刀屋連坦地及び国道54号の下り路線の区域が冠水したのは、以前からイエローゾーン区域になっている椎の木谷川や、滝谷川、三刀屋川、三谷川との関連性が大きく影響していると感じる。それぞれの川の樋門や排水ポンプなどの運用状況はどうであったか。</p> <p>(4)今後、滝谷川、椎の木谷川の氾濫を防ぐためには、滝谷川第1樋門への固定ポンプ等の整備が必要ではないかと感じるがいかがか。</p> <p>(5)今回、三刀屋高校の体育館側の土砂崩れが発生した。従来から指摘されている椎の木谷川砂防ダムの設置をどのように認識している</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|--|---|--------|
| | | | <p>2. 避難所における女性などに配慮した対応と、避難所運営の支援について</p> <p>3. 子どもたちの命を守るための防犯対策や交通安全対策の対応について</p> | <p>のか。</p> <p>(6) 三刀屋川の成畑、殿河内周辺も増水したが、急激な河川の上昇を抑えるための方策はどのようにお考えか。</p> <p>(7) 今後も同じような線状降水帯の発生による大雨が想定されるが今回浸水した地域が再び浸水しないような河川、雨水等の排水対策が必要と思うが市長の考えを伺う。</p> <p>(1) 避難者の安全や健康が維持されることが重要と考えるが、避難所運営の基本方針や運営体制はどのような基準を設定されているのか。</p> <p>(2) 避難に備え、女性特有の用品や乳幼児用品をあらかじめ一定程度備蓄しておく必要はないか。</p> <p>(3) 避難所に授乳できる空間や、女性専用の更衣室のような空間を確保して、女性のストレスの軽減を図ることができないか。</p> <p>(4) 避難所を開設するにあたって、地域自主組織の職員や市職員の配置人数や交代勤務の状況は適正であったか。</p> <p>(5) 従事した職員の健康管理が適切に行われていたか。</p> <p>(6) この度の豪雨災害では、避難所等の運営や、地域の方への様々な支援を地域自主組織が担い、その役割は大きかったと感じる。本年度は、地域自主組織の交付金の見直しを行うとのことであったが、市長の考えを伺う。</p> <p>(1) 先般、6月末に千葉県において飲酒運転のトラックが小学生の下校中の列に突っ込み、5人が死傷した事故は記憶に新しいところである。</p> <p>①子どもたちの大切な命を守るために、学校や通学路の防犯対策、</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|--------------------------------------|--|--------|
| | | | 4. 新型コロナウイルス感染拡大で疲弊する市内飲食宿泊業への支援について | <p>道路安全対策は十分に施されていると思うか。</p> <p>(2) 永井隆記念館で、窃盗犯が車を乗り捨てて逃走した事件が発生したが、防犯の観点から、学校周辺や通学路における防犯カメラの設置、防犯を取り締まる看板、防犯灯などの設置状況と今後の対策について伺う。</p> <p>(1) 雲南市宿泊・観光消費喚起支援事業「うんなん泊まってお得キャンペーン」が新型コロナウイルス感染症拡大により停止となり、その影響は大きい。コロナ感染拡大の抑制のための停止の趣旨は理解できるが、この事業に代わる支援策を講じる考えはないか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援事業として始まった雲南市の各補助事業だが、その中でも中小企業者デジタル化推進支援事業については、執行率が低調のようだが、その理由は何か。</p> <p>(3) 山陰中央新報の記事に掲載されていたが、情報発信の観点から、民間の職員さんが画像共有アプリ「インスタグラム」を用いて顧客の店舗情報を発信して応援されており、好評を得ている。雲南市としても、このようなIT媒体を使った店舗等の魅力発信に繋がる支援策を講ずる考えはないか。</p> | |
| 10 | 5 | 鶴原能也 (一問一答) | 1. 令和3年7月豪雨災害について | <p>雲南市では7月6日から12日にかけての記録的な豪雨により、市内各所で河川の氾濫や土砂崩れ、倒木などが発生し、市内の広範囲において甚大な被害を受けた。</p> <p>(1) 災害時の情報発信（情報管理）体制について 刻々と状況が変わる中、市民のみなさんの安全を確保するための水害の状況（道路、河川などの被害状況）はどの部署に集められ、管理されたのか。併せて把握した情報はどのような方法で、またどの</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|--------|---|--------|
| | | | | <p>タイミングで市民の皆さんに発信されたのか。</p> <p>(2) 交流センターから市へ「電話で助けを求めた」「災害備蓄品の問い合わせをした」、しかし何の返事もなかったと言うような声を多く聞いたが、市庁舎、総合センター、交流センター間の指示、連絡体制に問題はなかったか。</p> <p>(3) 多くの市民の皆さんから、ケーブルテレビで川の水位をチェックしようとしたが9時以降更新されず、川の様子が分からず不安だったという話を聞いたが原因と対策は。</p> <p>(4) 避難所について</p> <p>① 「災害対応と感染症対策の両立は難しかった」という話を聞いたが、市としてどのような指導をされたのか。</p> <p>② ペットを同伴しての避難について市の考えを伺う。</p> <p>(5) 災害対策用物資（災害備蓄品）について</p> <p>① 雲南市における災害備蓄品の種類（品名）と、それぞれの数量は。</p> <p>② 災害備蓄品の保管場所はどこか、また管理担当部署はどこか。</p> <p>③ 災害備蓄品の払い出し方法はどのようにするのか。</p> <p>④ 土のうについて、袋のつなぎ目部分の劣化から破損するもの、とじひもが切れるものが散見された。災害備蓄品の保管年数及び品質劣化等の管理はどのように行われているか。</p> <p>(6) 小学校児童の下校について</p> <p>これだけの大きな豪雨災害であったが、7月12日雲南市内の小学校の児童は無事保護者に引き渡された。</p> <p>① 警戒レベル4、警戒レベル5発令時における児童の安全を確保するための雲南市内小学校統一の「対応マニュアル」など整備されて</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|--------|---|--------|
| | | | | <p>いるか。</p> <p>②上記①の警報発令時の児童の下校方法はどこが判断するのか。</p> <p>③三刀屋小学校は11時54分、鍋山小学校は11時49分に、教育委員会からの指示もあり保護者の皆さんに14時30分以降に引き渡しを予定している旨をメール発信されているが、十分に安全面を考慮した判断であったか。</p> <p>④三刀屋小学校の裏がレッドゾーンに指定されることについて、保護者に対しいつ、どのような方法で説明されたのか。</p> <p>⑤小学校までのアクセス道路、河川等の情報は迎いの保護者に適切に提供されたのか。</p> <p>(7)農業者の支援について 農地や水路等の農業用施設、機械・設備に甚大な被害が発生した。</p> <p>①今年は収穫ができた水田も「あぜ」が崩れた水田、水路、耕作道が壊れた水田では来年は耕作が不可能であるが、農家に対する金銭的な支援は出来ないか。</p> <p>②被災した農地のうち中山間地域等直接支払交付金の対象面積と交付金の額及び今後復旧計画に基づく復旧が実施されなかった場合、遡及返還となるか。</p> <p>③復旧を考えた上で問題となるのがこの利用権設定水田と考える。特に地主が高齢者の場合、復旧に係る時間、自己負担額によっては災害復旧等の措置を行わず農業を止められることが懸念されるが、市としてどのように取り組む考えか。自己負担額の一部を市が負担する等の考えはないか。また、市として復旧計画の策定についてどのように指導する考えか、遡及返還額を市が負担する考えはないか。</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|---|--|--------|
| | | | <p>2. 市長施政方針について</p> <p>3. 成年後見制度について</p> | <p>④利用権設定による集積金など市の補助金について来年度以降どのように考えているか。</p> <p>⑤認定農業者の認定基準に年間所得目標（350万円）があるが、来年以降の収入減、また収入見込額の算定が難しいことから認定基準の緩和等の考えはないか。</p> <p>⑥豪雨災害により多くの水田が壊滅的な状況であることに加え、新型コロナウイルスの影響による需要減による厳しい販売見通しから、2021年産米の買い取り価格が大幅減額となる旨の報道があった。このままでは、経営難から営農意欲がなくなり農業の継続を断念する農家が多くなることを心配するが、雲南市として農業を守るための具体的な対策は。</p> <p>令和3年7月豪雨災害について、「幸いにも人的被害が発生しなかった」と「幸い」という言葉が使われているが、市長には雲南市は「決して人的災害など発生させない態勢で臨む」という気概で対処していただきたいが所見を伺う。</p> <p>(1)成年後見制度利用促進基本法が施行され、令和3年度中に雲南市成年後見制度利用促進基本計画を策定し、成年後見制度利用促進のため中核機関を中心とした地域連携ネットワークを構築する必要がある。</p> <p>①雲南市の成年後見制度の現状、第三者後見人の人数及び職種、被後見人の人数及び予備群といわれる認知症患者の人数について伺う。</p> <p>②地域連携ネットワーク構築に向けた進捗状況について</p> <p>ア) 中核機関はどこを予定しているか。併せて中核機関の役割につ</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|-----------------------------------|---|--------|
| | | | 4. 雲南市農業振興 地域整備計画につ いて | <p>いて伺う。</p> <p>イ) 協議会の具体的メンバーは。</p> <p>ウ) 松江後見センターの位置づけをどのように考えているのか。雲南市で完結出来る組織作りは出来ないか。</p> <p>合併前の旧6町で策定された整備計画を雲南市の計画とされているが、これは昭和45年頃に策定されたもので約50年が経過し、この間自動車専用道の整備、農地転用、耕作放棄地等の増加などから、農林水産省が指導する計画の見直しが必要である旨を主張したが、「本計画を大幅に見直す必要のある大きな変化など生じていない」との答弁であった。計画を「見直す必要のある大きな変化」とは具体的にどのような事象か伺う。</p> | |
| 11 | 6 | 梶谷佳平 (一問一答) | 1. 木次線存続に対 する雲南市の各種 支援策について | <p>木次線存続のため、市民や観光客の利用を高めることは、当然必要と思う。一番効果が高いのは、定期券利用者を増やし、輸送密度(宍道駅から備後落合までの一日当たりの乗車人数)を高めることが一番効果が高いと言われている。木次線存続に向け、雲南市としての取組について伺う。</p> <p>(1) 雲南市として、日々の利用者増加支援策として何か計画しているか。</p> <p>(2) 定期券補助対象者の拡大について</p> <p>①木次線利活用推進協議会では、色々なイベントを行っている。その中で定期券利用者を増やすため、木次線区間の1か月定期券代(普通回数券1冊でも可)、最寄り駅の駐車場1か月借り上げ料が無料となる制度を展開中である。対象者は、大学生・専門学校生で高校生以下は対象外となっている。なぜ高校生以下を対象としないのか。</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|--------------|---|--------|
| | | | 2. 指定避難所について | <p>(3) 市内の各駅には駐輪場・駐車場が十分に整備されていない。整備計画はあるか。</p> <p>(4) 雲南市職員等の木次線・市民バス利用促進について</p> <p>① 雲南市職員の内約80名が市外から通勤していると言われている。職員の通勤に木次線・市民バスを利用いただく策は考えていないのか。</p> <p>② 木次駅から、本庁舎への市民バスのアクセスは悪い。そこで、JRと市民バスの接続を良くすることが必要である。市民バスと市民バスの接続をよくするため、例えば、JRの乗降客を乗せるため市民バスを駅で待機させる。加えて、分岐点となるバス停では、市民バスを降りたら次の市民バスが来るとか、市民バスが待っているような時刻表作成はできないのか。この時刻表作成により、JRや市民バスの利用が活発化することが期待できるのではないか。</p> <p>③ 雲南市役所として、JRやバス利用者増を目的にフレックスタイム制導入の考えはないのか。</p> <p>先般の豪雨災害時に開設された避難所を視察した。畳の部屋もあるが、中には硬い床にスポンジを敷きスペース約2m四方を高さ1.5mで囲った所もあった。圧迫感のあるスペースであり、とても1日我慢できないと感じた。</p> <p>(1) 避難所設備の充実について</p> <p>① 高齢者の多い雲南市として、弱者対応として、指定避難所とされたところには冷暖房・厨房・更衣室・多目的トイレ(ジェンダー用)、授乳室・段ボールベッド・車いす等は十分に整備されているか。もっと広いスペースの確保が出来ないか。</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|--|--|--------|
| | | | <p>3. 子育て最優先の雲南市でも就職等による若者の流失が多い事について</p> <p>4. コロナ禍における事業継続支援について</p> | <p>(2)避難所開設に伴う経費支払いについて</p> <p>①指定避難所の運営費用は、施設の大小で異なるが、一日当たりどの程度運営費用を要するか把握しているか。また、今回、開設した指定避難所の施設運営費用・人件費は、支払うのか。</p> <p>ベッドタウンとして最適と思われる雲南市から、毎年20～30代の子育て世代の若者が就職のため転出している。</p> <p>(1)子育て支援情報の収集について</p> <p>①子育て支援が若者に受け入れられていないのではないかと。転出する若者に、転出先の市町と比較して雲南市の支援策は何か足りないのか。情報収集しているか。</p> <p>(2)求人企業・求職者への支援策について</p> <p>①就職のため転出が多いとなると、雲南市内企業へ就職してもらうための支援が必要と考える。市内の求人企業や市内企業就職者支援について、どう考えているのか。</p> <p>4月に緊急支援策として”飲食・宿泊・運送業関係、セフティーネット認定で借入した事業者”への支援を実施し、加えて、借り換えに伴う保証協会へ支払う保証料の支援をされた。しかし、コロナは今も猛威を振るっており、ワクチン接種は11月完了目標で進められているが、計画通り進むのか不安である。</p> <p>雲南市は、納税いただく事業所に対して、引続き支援策を行い、今後も事業を継続していただく必要がある。</p> <p>(1)事業継続給付金の再支援について</p> <p>①事業継続給付金の支給後、売上等が十分に改善していない、今まで以上に苦しんでいる事業者も少なくない。今後、事業継続給付金</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|-----------|---|--------|
| | | | | <p>の追加支援策が必要と思うが、市として追加策は考えているのか。加えて、前回対象外とした業種への支援策の創出は考えているのか。</p> <p>(2) 農業者への支援について</p> <p>① 中小規模農業者は赤字のところが多。サラリーマン給与や年金収入で赤字補填をしている。コロナ禍での受注減少、7月豪雨等で農業資産に大きな被害を被っている農業者も多い。また、被害を受けた農業者の中には、高齢のところも多い。このまま何の支援策も実施しなければ、離農はもとより市外転居も懸念される。市長は、就任以来農業支援を積極的に行うとのことであったが、被害を受けた農業者の離農・市外転居を食い止めるためにも、農業者の事業再開のため事業継続補助金の創出・無利息又は低利融資策を考える必要があると思うが、いかがか。</p> | |
| 12 | 1 | 多賀法華 (一問一答) | 1. 災害について | <p>(1) 道路の情報共有をどのようにしていくのが良いのかみんなで考える必要がある。今回の場合、道路の被害箇所が多すぎて正確な情報を把握し情報共有するのは難しかったと思う。ただ、県道は、島根県道路規制情報で分かりやすく載せてあるのを見ると、市道でもできるのではと期待してしまう。道路の情報について、雲南市のWEBハザードマップの地図上に載せる考えはあるか。</p> <p>(2) 今回、落雷により電話、告知放送受信機、テレビが壊れてしまい、情報が全然分からなかったところもある。防災無線システムの整備をしてもらったことは本当に心強い。現在、戸別受信機の配布はどの程度終わっているのか。</p> <p>(3) 雲南市公式LINEで情報が知れて良かったとの声があった。登録者数を増やすために、転居してこられた方への説明や雲南市のお店</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|--------|--|--------|
| | | | | <p>へ QR コードを読み込めるようなチラシの配布などの取り組みが必要と思うがいかがか。</p> <p>(4)避難所の開設について、把握してないことが多かったように思う。指定緊急避難所、指定避難所、福祉避難所、避難所（臨時）の違いと避難所の開設は、どこがするのかを伺う。</p> <p>(5)今後検証された上でこの避難所についての違いや開設の説明など分かりやすいものを周知する必要があるかと思うが、いかがか。</p> <p>(6)今回、在宅系の福祉サービスを利用中の高齢者の方はどこに避難すべきか分からず困ったと聞いた。例えば避難行動要支援者の避難支援計画を作っていて、そのプランには避難所は福祉避難所となっても、事業所利用中だと事業所としては一般の避難所に避難することになっていることもあると思われる。その場合はどこに避難することになるのか。</p> <p>(7)デイサービスやショートステイからの帰宅困難者もあり困られたと聞く。雲南広域連合と居宅ケアマネで相談し、災害時の緊急利用は柔軟に対応されて良かったようだが、一方で 17 時 15 分になると電話がつながらなくなり、相談が出来なくなったとも聞く。災害時は、雲南広域連合の担当とつながるよう連携をとるべきと思うがいかがか。</p> <p>(8)在宅で暮らされている方で、医療依存度の高い方が今回のような災害で家に帰れなくなった場合、なじみのショートステイが確保出来れば良いが、出来なかった場合、市として受け入れる手立てはあるのか。</p> <p>(9)6月の一般質問で接遇について質問した。災害時、職員の方の対</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|-------------------|----------------------------|---|--------|
| | | | | <p>応に悲しい思いをされた方がいると聞く。一般質問から期間は短い が、この間小さな取り組みでもよいのでどのような取り組みをされ たのか伺う。(例えば目指すべき職員像の PDF を職員メールで送って みんなで確認するなど。)</p> <p>(10)土地などの民間同士のトラブルに対する相談窓口の創設が必要 と考える。自然災害であり、わざとしたわけではないが心苦しくな っている方もおられる。間に立ってもらっただけでも良いので、わだ かまりが残らないよう、住みにくくならないようサポートが必要で あると思うがいかがか。</p> <p>(11)自助・共助が大切なのはもちろん分かるが、現実問題、特に山 間部、平日の日中に地域におられる方は高齢者の方が多い。5年後 10年後、自助・共助がきちんと機能するのか、非常に心配である。 地域の状態によっては、地域自主組織に市職員を配置することも必 要になってくると感じる。所見を伺う。</p> | |
| 13 | 7 | 宇 都 宮 晃 (一問一答) | 1.地球温暖化によ る気候変動につい て | <p>(1)政府が気候変動の影響を避けるため温室効果ガス排出を実質ゼ ロにする脱炭素社会の実現を明記した。これについて内閣府は世論 調査を行い、脱炭素社会について「知っていた」「言葉だけは知って いた」と回答したのは 68.4%。70 代以上は 81.0%が知っていたと 回答、18～29 才は 45.4%と低めである。脱炭素社会の実現に「取り 組みたい」と回答した人は 91.9%で、実際の取り組みとしては「冷暖 房の設定温度を適切に管理」「こまめな消灯」などを選択した人が多 かったようである。一方で、洪水や高潮への対策など気候変動の悪 影響に備える「気候変動適応の言葉や取り組みを知らなかった」と 回答した人は 47.7%で、年代別では 30～39 才で知らなかったという</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|-------------|--|--------|
| | | | 2. 学校教育について | <p>人が多く 66.0%であった。世界で脱炭素の動きが強まるなか、日本はかなり遅れているように思える。市長の見解を問う。</p> <p>(2) 今回の豪雨災害も、市長が施政方針で述べられたように、世界の平均気温の上昇に起因することは明らかである。雲南市民の皆様がどのように受け取っておられると判断されるのか所見を伺う。また、調査される考えはあるのか。</p> <p>(3) 脱炭素社会(二酸化炭素やメタンといった温室効果ガスの排出量と、森林による吸収分などが差し引き実質ゼロになる状態)について、世論調査によると、年代によって知らない人が 50%以上の世代もあり、普及啓発に努める必要があると思うがいかがか。</p> <p>(4) 経済産業省は 2030 年度の新たな電源構成の見通しについて、太陽光や風力といった再生可能エネルギーの割合を「30%後半」とする方向である。因みに、2019 年度の実績は約 18%である。原子力については、今の 2 割程度の目標を据え置く見通しである。温室効果ガスを大幅に減らすため再生エネと原子力を「脱炭素」の電源と位置づけ、石炭などの火力を大きく減らす。政府は今年「エネルギー基本計画」の改定を予定し、電源構成はその柱となる。その中で雲南市は、中国電力の島根原発 2 号機再稼働の是非を判断する「事前了解」の権限が盛り込まれないため出雲市、安来市と共に合意に至っていない。この状況についての見解を問う。</p> <p>(1) 3 月の定例会の一般質問で教科担任制について質問した。2022 年度から小学 5、6 年での導入準備が進んでいる教科担任制で体育を対象に加える方針を決めた。すでに、中教審は理科、算数、英語については導入を答申していた。文科省によると近年、定年後の再任用</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|-----------------|-------------|---|--------|
| | | | | <p>が進んだことで60代の現役教員が増加、体力面を考慮すると体育専門の若手教員らに任せられる仕組みを整えるべきと判断したものである。雲南市ではベテラン教員の負担減となるこの制度をどのように考えておられるか見解を問う。</p> <p>(2)6月の定例会で理数系の男女格差について質問した。その後、政府は理工系の女性研究者を増やすための政策を強化することにした。OECDの学習到達度調査では、日本の15才の女子生徒の科学的、数学的リテラシーはOECD平均より高く、男子と比べても遜色ないようである。欧米各国同様女性研究者が増えることが望ましいと考えるが、教育長の見解を問う。</p> | |
| 14 | 16 | 細 田 実 (一問一答) | 1. 災害対策について | <p>この度の7月島根豪雨により雲南市は大きな被害を受けた。これに対し議会災害対策会議は議長名で、災害復旧の早期実現をはじめ大きく5項目の提言を市長に行った。提言と重複する部分もあるが市の見解を伺う。</p> <p>(1)災害復旧体制について</p> <p>①大きな災害であるが幸いにも人命が失われることがなかった。このことについての見解を求める</p> <p>②災害復興調整室を設置されたがその役割と人員配置について。災害復旧にあたる部課は残しての体制の中で屋上屋を架すことにならないか懸念する。</p> <p>③災害発生時から今日まで災害対策会議や現場から様々な反省点(良い点も)が上がっていると思う。それらの現時点での集約もしながら次に備える必要がある。復旧で大変だが異常気象の中で「次」に備えなければならない。見解を伺う。</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|--------------------|--|--------|
| | | | 2. コロナ感染防止 について | <p>④職員体制がこのままでは持続可能な行政運営、災害復旧、働き方改革ができないのではないかと。市町村合併、人員削減で地域・現場に職員がいなくなっている弊害が災害で顕著になったのではないかと。数十年に一度の災害が毎年のように起こる状況の中で、住民福祉を維持するためには定員管理計画見直しと、当面する人員配置の増が急務ではないかと。</p> <p>⑤災害（復旧）をめぐっての住民からの要望が多く寄せられる、合わせて日常業務の中で、対応する職員の健康破壊（メンタル面も）を心配する。対策を職員にも、また市民にも示してお互いが理解し合い進めなければ継続した災害復旧が持続できないのではないかと。</p> <p>(2)避難対応について</p> <p>①全市内に避難所を開設し交流センターの協力をいただき運営されていた。自主組織および市の災害対策本部での避難所の問題点の共有が必要と思うがいかがかと。</p> <p>②今回のように全地区に避難所を開設する事態が発生する中で、備蓄物資を拠点から運ぶ体制では道路の寸断など重なれば物資が早い段階で届かない。備蓄のあり方に問題はないのか。</p> <p>(3)被災者支援について</p> <p>①当面する最大の定住対策は被災者支援と災害復旧である。家屋の被災、木戸道・橋の破壊で自宅通いができない、農地破壊で耕作意欲の減退などなど、住み続けることへの不安に細かな対策で対応しなければならぬと考えるがどうか。</p> <p>(1)全国的に、また島根でも感染しても入院できない、あるいは入院できなくなる可能性があるところまで医療体制はひっ迫している。</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|---------------------|---|--------|
| | | | 3. 島根原子力発電 所について | <p>雲南地区の状況について伺う。</p> <p>①雲南市立病院の受け入れ態勢はどうか。</p> <p>②雲南市立病院は雲南地区の感染患者のみ受け入れるという事ではないと思うが、圏域内、圏域外の感染状況と入院患者の受け入れ調整などのどのように行われるのか。</p> <p>(2) 低年齢層への感染が拡大していることについて</p> <p>①夏休みが明け、学校での感染、またそこからの感染広がりが懸念される。感染を想定してどう対処しているか。</p> <p>②学校感染の場合、学級閉鎖、学年閉鎖、学校休校、全学校閉校等考えられる。前安倍総理大臣の突然の学校休校で混乱したが、島根県立高校が休校しなかったように（県教育委員会が判断を下したかは定かでないが）、自主的に判断することが自治体に教育委員会がおかれている趣旨だ。判断基準を問う。</p> <p>③全校休校でない限り休校する（発生した）学校は公になることになるが、公になる（公表する）ことについての市民の理解が必要ではないか。</p> <p>(1) 周辺自治体の立地自治体同等の安全協定について</p> <p>①中国電力は雲南市はじめ周辺3市の立地自治体なみ安全協定の要望に対し、事前了解権は「立地自治体固有の権利」として要望を拒否しました。副市長の対応報道により市の見解は理解できるが、改めて拒否回答に対する市長の見解を問う。</p> <p>②立地自治体だけに「事前了解」の権限を与える根拠は、開発行為許認可権を有しているためだと市民団体に説明と報道（8月24日山陰中央）されているが市側に説明があっているのか。</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|-----------------|-------------|--|--------|
| | | | | <p>③事実、東海第二原発では中国電力の根拠に関わらず、周辺自治体とも事前了解を得ることを明記した安全協定を締結している。この事例を認識しているか。</p> <p>④法律上は、原発設置や稼働は地元自治体の同意を要件とされていない。しかし、原発の設置・稼働は地元自治体の事前了解が事実上不可欠であり、これまで立地自治体の同意なしで運転が再開された例はない。それが周辺自治体に事前了解が拡大されたのは原発の危険性が周辺自治体にもおよぶことが明らかになったからである。許認可権などを根拠に松江市が私たちの安全を確保してくれるわけでもなく、周辺自治体自らが市民の安全を守らなければならない。安全協定があって初めて自治体として対等に原発に向き合うことができると考えるがどうか。</p> <p>⑤日本の原発は世界最高レベルの安全基準と言われるが、避難計画の安全審査もしない基準が最高レベルの安全基準と言えるのか。</p> <p>⑥原発の絶対的安全性を誰も保証しない中で避難計画の実効性は欠かせない。実効ある避難計画はいつ策定されるのか。</p> <p>⑦先に経産省から2030年のエネルギー計画が発表されたが原発発電比率20～22%は到底実現不可能。訴訟をいくつも抱えいつ止まるかもわからない。トイレのないマンションを建てる原発政策から再生可能エネルギーに向けての政策の推進と、世論を盛り上げていくことが必要と思うがどうか。</p> | |
| 15 | 13 | 原 祐 二 (一問一答) | 1. 豪雨災害について | (1) 公共土木施設 (道路・河川) 災害について ①道路災害により、全面通行禁止とされている路線数、崩土撤去等により解除見込みの路線数、仮設道路により規制を解除できる路線 | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|----------------------|---|--------|
| | | | 2. 下水道使用料の 改定について | <p>数、復旧工事の完了まで全面通行禁止となる路線数について、町別の状況と見込みを問う。</p> <p>②全面通行禁止について、デジタル地図によるレイヤー表示（島根県の道路規制情報）を参考とした方法の検討・実施について問う。</p> <p>③河川災害による、河川内への崩土や倒木・流木の撤去等作業について、町別の対応状況を問う。</p> <p>④復旧工事のスケジュールでは、12月補正後の発注予定だか、道路及び河川の復旧における優先順位について問う。</p> <p>⑤復旧工事完了までの、片側通行区間の路肩や法面、仮設道路の点検・補修及び規制看板の管理について問う。</p> <p>(2)農地・農業用施設等災害について</p> <p>①災害復旧の流れとして、所有者への回答・意思確認を10月末までに行い、令和4年1月以降に工事発注するスケジュールが示された。農地・農業用施設（ため池・頭首工・水路・道路・橋梁）、林道、林地崩壊、地すべり等災害の復旧工事における、所有者（受益者）への回答・意思確認、負担割合について問う。</p> <p>②複数で所有・管理する水路や道路への回答・意思確認先及び所有者と異なる被災者への報告・対応について問う。</p> <p>③農地被害による、中山間地域直接支払交付金、多面的機能支払交付金における対象農地の取り扱いと今年度以降の交付金の支払いについて問う。</p> <p>(1)下水道使用料の改定について審議会に諮問された、諮問の理由と内容を問う。</p> <p>(2)答申された改定後の使用料及び改定率についての所見を問う。</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|-------------------|-----------------------------------|--|--------|
| | | | | (3)答申された付記意見(7項目)についての所見を問う。 | |
| 16 | 12 | 中 村 辰 眞 (一問一答) | 1. 7月6日から8 月15日までの豪 雨災害について | <p>(1)災害対策本部について</p> <p>①庁舎内のどこに災害対策本部が設置されたか。</p> <p>②発災時における災害対策本部の機能として、情報収集、情報集約、情報発信、行動指示などが挙げられると考える。市内全域の状況を把握するために、受けた情報をリアルタイムで地図に落とし込む必要もある。本市の災害対策本部の実態がどのようになっていたのか伺う。</p> <p>(2)発災時の初動について</p> <p>①発災直後の被災現場確認体制の状況を伺う。</p> <p>②三刀屋町大倉地区の孤立に対しての初期対応について伺う。</p> <p>③吉田町深野三谷地区では、高齢者方がヘリで救出されたような状況にも関わらず、市として全容を把握されたのは発災から3日目であったと記憶している。なぜ時間がかかったのか伺う。</p> <p>(3)備蓄品・常備品について</p> <p>①12日の三刀屋町旭町界隈の浸水時間帯が、高校生の下校時間に重なった。市道南通り線の冠水箇所を水の中に入りながら下校していた。過去にボートを備蓄する事を提案した。本庁に確認を行ったが「市としてボートは持ち合わせてない。消防署が持っていると思う」との回答であった。今回の被災状況を教訓とし、各総合センターへゴムボートを常備しておくべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>②現在の本市における備蓄品は、以前に比べて、種類や数の面で大きく改善されていると感じている。今回は断水した避難所もあったことから、乳児を連れた方が避難された時に液体ミルクは有用であ</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|--------|---|--------|
| | | | | <p>るが備蓄がされているのか、合わせて安心して授乳できるスペースの確保ができていますか伺う。</p> <p>(4) 市民への対応について</p> <p>① 公共料金の支払いにあたり、県からは減免や猶予に対する案内があったが、市からはなかった。問い合わせに対しても、「申し出があれば検討する」と心無い返答であったとの被災者からの悲痛の叫びを頂いた。市民に寄り添う行政をうたいながら真逆の対応がなされている現状をどのように受け止めるか。</p> <p>② 8月9日の台風9号の接近に伴い、各所で停電が発生した。加茂町内の企業団地では、5時間にも及ぶ停電となった。操業が停止する中、市からの情報提供も無くその日は途中から休業とし、休業予定の12日を代替え日とした企業もあった。長時間停電に際しては、中国電力への確認を密にし、市民へ情報提供をするべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(5) 三刀屋町旭町の浸水について</p> <p>① 三谷川の増水は、排水が追いつかなかったことが大きな要因と考える。固定ポンプが稼働し、ポンプ車も出動した中で、国道の浸水域が午後12時を境に広がっていく様子は見ていて疑問を感じた。これは流入量に対し排水量が追いつかなかったとの解釈でよいのか。</p> <p>② ポンプ車に関して、赤羽国土交通大臣から全国の実例が紹介された。本市として今後どのように生かしていくのか見解を伺う。</p> <p>(6) 避難所について</p> <p>① 指定避難所の中野交流センターが避難者を受け入れた状態で一時的に孤立状態となった。避難所の安全確保及び避難者の安全安心の</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|-------------------|--|--|--------|
| | | | <p>2. 臓器移植普及推進等の啓発について</p> <p>3. 木次線トロッコ列車に関して</p> | <p>保障の観点から、避難所への進入路の複数化が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(1) ライトアップによる啓発について ①10月には、臓器移植普及推進月間 骨髄バンク推進月間である。平成29年から本庁舎1階ロビーで啓発展示が行われている。平成31年にはライトアップによる啓発活動として、チェリヴァ大橋のライトアップを求めたが、経年劣化により電球色のみであるとの答弁だった。今春のライトアップ時には見事に緑色にライトアップされていた。チェリヴァ大橋のライトアップに関してはあとは判断のみと考えるが見解を伺う。</p> <p>(1)8月23日に第2回木次線観光列車運行検討会が開催された。トロッコ列車の後継車両についての検討された中に、現行のキハ120の利用の可能性を問われた部分があった。気動車で客車をけん引する事を前提とした回答のように感じたが、質問の趣旨としてこの回答で良かったのか伺う。</p> <p>(2)気動車2両で構成されたトロッコ列車が多く存在する。現行トロッコ列車の形態にとらわれなければ多様な提案ができると考えるが見解を伺う。</p> | |
| 17 | 15 | 周 藤 正 志 (一問一答) | <p>1. これまでの市政運営の所感について</p> <p>2. 災害対応について</p> | <p>市長が就任され7カ月が経った。新型コロナ、災害と平時とは異なる非常事態の中にあるが、この間の市政運営についての所感を伺う。</p> <p>(1)災害復旧を最優先にとの方針が示されたが、一方で取り組まねばならない事務事業が中止、先送りされれば、市勢の停滞を招くがどう対処するつもりか。</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|---|--|--------|
| | | | <p>3. 教育の諸問題について</p> <p>4. 「脱炭素宣言」について</p> <p>5. 今後のコロナ対策について</p> | <p>(2) 木次の潜水橋に引っかかる流木は景観上からも早く撤去すべきだ。</p> <p>(3) ライフラインである浄水場の浸水・落雷被害が発生したが、抜本的対策を講ずる必要があるのではないか。</p> <p>(4) 農地の復旧にもかなりの時間を要すことから耕作放棄が増えると思うが、どう対処するのか。</p> <p>(1) 市長は市の教育の現状をどう評価しているか。また、どのような教育ビジョンを持っているのか伺う。</p> <p>(2) 小学校からの英語教育に問題はないのか。</p> <p>(3) 国語力の低下が著しいと言われているが、実態はどうか。</p> <p>(4) ICT教育をどう学力向上につなげていくのか。</p> <p>(5) スマホは人間生活全般にさまざまな影響を及ぼしていることから、もっと教育の面からも大きな問題として取り組むべきではないか。</p> <p>(6) 「道徳」における評価はどうされているのか。問題点はないのか。</p> <p>(7) 「生涯を通じて自ら学び、人生を豊かにする」生涯学習にもっと力を入れるべきではないか。</p> <p>「脱炭素宣言」の表明に向けて取り組むとのことだが、単なるパフォーマンスではなく、市民が理解し、賛同・実践するものでなければならぬがどうか。また、市長の「脱炭素社会」のビジョンはいかなるものか。</p> <p>ワクチン接種が進んでいるが、これまでにない感染拡大が続いている。しかしながら公開されている情報が少なく、個人ではこれまで以上の対策はとりようがない状況だ。収束が見通せない中、今後の</p> | |

| 質問 順位 | 議席 番号 | 議員氏名 (質問方式) | 項 目 | 要 旨 | 備 考 |
|----------|----------|----------------|--------|---------------|--------|
| | | | | コロナ対策をどうするのか。 | |